

県南支部だより

平成 29 年 8 月 31 日発行
発行責任者 原田 仁稔
発行者 支部だより編集委員

特別講演会

8月19日（土）14：30から労働福祉会館で、平成29年度県南支部特別講演会が開催されました。

はじめに、一般社団法人福島県臨床検査技師会県南支部原田支部長から挨拶があり、総勢74名の参加のもと開催になりました。

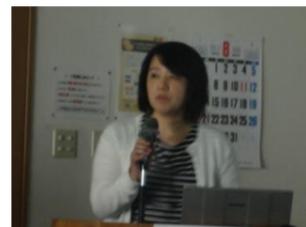
福島県臨床検査技師会県南支部
原田仁稔 支部長



白河厚生総合病院
森合博一 技師



太田西ノ内病院
石橋伸治 技師



大田熱海病院
佐藤美樹 技師



太田西ノ内病院
高田佳奈 技師

前半は、平成 29 年度福島県臨床検査技師会学術奨励賞受賞者3名ならびに福島医学検査学会学術賞受賞者 1 名の計 4 名の発表が、総合南東北病院三嶋技師の進行で行われました。発表された演題内容は、以下の通りです。

1. 「膀胱原発小細胞癌の 4 例」

白河厚生総合病院 病理診断科 森合博一 技師

2. 「超音波検査にて診断し得た十二指腸重複腸管の 1 例」

太田西ノ内病院 臨床検査部 生理検査科 石橋伸治 技師

3. 「僧房弁後尖逸脱症の 1 症例」

大田熱海病院 臨床検査部 佐藤美樹 技師

4. 「心サルコイドーシスの経過観察にストレイン法が有用であった 1 症例」

太田西ノ内病院 臨床検査部 生理検査科 高田佳奈 技師



特別講演会 講師 伊與田友和先生



出席された方々も興味深く聴講されていました

後半の特別講演は坪井病院川田技師が座長を務め、一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院薬剤部課長の伊與田友和先生から「いま広がりつつある薬剤師外来～《診察前》がキーワードのチーム医療～」と題して、東北では3施設のみの薬剤師外来の現状について講演をいただきました。薬剤師の基本業務から薬剤管理指導料、がん患者指導管理料（1患者生涯に6回まで）、がん領域専門薬剤師が福島県には1人もいない実態、がん薬物療法認定薬剤師研修施設の福島県初の施設認定を目指されている活動、薬剤師外来の関心の高さから実際の坪井病院における薬剤師外来の内容等についてお話し頂きました。

途中、福島県は口内炎の発生頻度が高い県民でその要因としてストレスと口内乾燥があげられるが、口内炎の場合イソジンのうがい是不適当であり（イソジンは口内乾燥を助長してしまう）、予防には口に含むうがい（ガラガラでなくブクブク）が効果的とのことでした。そのほか口内炎予防としての歯石除去、プラークコントロールの重要性も教えて頂きました。

伊與田先生には暑気払いにもご参加いただき、講演後も興味深いお話を聞かせて頂きました。

暑気払い

会場を郡山駅前「庄や」に移し、17：30から暑気払いの開催となりました。

支部長挨拶のもとで、みんなで、乾杯！！今年の暑さを吹き飛ばしましょう！！



↑ 美味しい料理に会話もはずみます☆



↑ 笑顔と熱気で会場の温度も急上昇！



【編集後記】

今回も多数の会員の参加のもとで特別講演会、暑気払いが盛会におこなわれました。準備していただいた役員はじめ参加していただいた会員の皆様有難うございます。今後も県南支部の事業への参加と親睦を深めるための行事への参加を宜しくお願い致します。